

平成 28 年度 京都市立大枝小学校 後期学校評価

平成 29 年 3 月
学校評価委員会

学校教育目標

「進んで学び 自他を大切にする大枝の子」

～確かな学力 豊かな心 健やかな体～

① 学校評価アンケート結果から

多くの項目で前期よりよい結果となっており、地域、保護者の方のご支援のもと、学校の指導の効果がみられる。16 の項目の内、学校評価委員会で話題になった質問項目を取り上げて紹介する。

質問1		後期				前期			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	あなたは学校生活が楽しいですか。	81.6%	18.0%	0.0%	0.5%	84.5%	13.7%	0.9%	0.9%
保護者	あなたのお子さんは学校生活が楽しいと言っていますか。	62.3%	35.1%	2.6%	0.0%	62.3%	35.3%	2.4%	0.0%
教職員	児童にとって学校生活が楽しくなるように努力していますか。	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%

児童は前期のアンケート結果と大きな変化はない。「そう思う」「大体そう思う」が 98%以上あり、多くの児童が楽しく充実した学校生活を過ごしていることがわかる。ただ、クラスマネジメントシートなどの結果では、悩みをもっていると答えた児童も一定数おり、何か悩みがあつて楽しくないと思っている児童もいることもわかつている。児童が悩みや困りを抱え込まないように今後もしっかりと見守っていく必要がある。また、教育相談を積極的に実施していくことも有効であると考ええる。

質問7		後期				前期			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	あなたは掃除の時間にきちんと掃除をしていますか。	80.7%	18.4%	1.0%	0.0%	37.4%	58.3%	4.3%	0.0%
保護者	あなたのお子さんは身のまわりの整理整頓ができていますか。	26.8%	50.0%	21.4%	1.8%	29.6%	61.7%	7.4%	1.2%
教職員	児童に掃除の指導を適切に行っていますか。	43.8%	43.8%	12.5%	0.0%	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%

児童は「そう思う」が大きく増え、「あまりそう思わない」「そう思わない」が減っている。保護者は「大体そう思う」が減り、「あまりそう思わない」が増えている。教職員は「そう思う」が増えているが、「あまりそう思わない」も増えている。掃除の時間にきちんと掃除している児童が増えているのは、子どもたちが落ち着いて学校生活を過ごしていることの表れであるといえる。公共のものを大切にする意識が育っていると考えられる。保護者に対しての質問は「身の回りの整理整頓ができていますか」である。質問6と同じように、学校でできていることが家ではできていない児童がいるのかもしれない。身のまわりを整理整頓することの効果、掃除や整理整頓をすることは自分も人も大切にするにつながるという意味など様々な面から指導していく必要があることがわかった。

質問8		後期				前期			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	あなたは健康や安全に気をつけて生活していますか。	82.0%	15.1%	1.2%	1.7%	19.0%	64.9%	14.3%	1.8%
保護者	あなたのお子さんは健康や安全に気をつけていますか。	42.5%	54.2%	3.3%	0.0%	36.2%	57.2%	6.6%	0.0%
教職員	健康や安全にかかわる指導を大切にしていますか。	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%

児童の「そう思う」が大きく増えている。保護者の回答に大きな変化は見られない。児童の「そう思う」が増えているという結果は、大枝小学校が力を入れて取り組んでいる健康教育の取組の成果であるといえる。4年間、健康教育を大枝小学校の柱の1つとして取り組んできた。ラジオ体操、保健の日、安全の日などは大枝小学校独自の取組である。取組を行うことで確実に健康や安全に対する意識は高まっている。児童の健康や安全は、とても大切なことである。今後、取組を継続する中で、児童がより主体的に自らの健康・安全について考え、判断し、実践していく態度を大切に育てていきたい。教職員は「あまりそう思わない」が増えている。これは、児童の健康や安全は学校教育の中でも特に大切にしなければいけないという意識の表れでもある。これでよいと思わず、今後もさらに健康や安全を大切にする児童を育てるためにはどのようにしたらよいかを考えていきたい。

質問10		後期				前期			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	あなたは家で宿題や勉強をしていますか。	90.8%	7.3%	1.9%	0.0%	14.4%	76.4%	7.7%	1.5%
保護者	あなたのお子さんは家で宿題や勉強をしていますか。	54.3%	40.9%	4.7%	0.0%	27.9%	55.7%	15.7%	0.7%
教職員	児童に家での宿題や勉強ができるように適切な課題を与え、評価していますか。	62.5%	31.3%	6.3%	0.0%	47.1%	47.1%	5.9%	0.0%

児童の「そう思う」が大きく増えている。保護者は「そう思う」が増えている。教職員は「そう思う」「あまりそう思わない」が増えている。学校での指導、保護者の御協力もあり、家庭学習にしっかりと取り組む児童が増えていることがわかる。宿題の取り組み方等、家庭学習については校内で学力向上委員会を開き、学力向上のためにどのように家庭学習に取り組ませるべきかを話し合い、共通理解をした上で後期をむかえている。その成果がでていいると考えられる。今後もこの成果をもとにさらにより家庭学習について考え、保護者と一緒に実践していきたい。

質問11		後期				前期			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	あなたは自分から進んであいさつしていますか。	75.0%	20.9%	2.7%	1.4%	10.6%	69.6%	14.9%	5.0%
保護者	あなた自身は、すすんであいさつしていますか。	38.6%	46.5%	12.9%	2.0%	15.5%	53.5%	26.4%	4.7%
教職員	あなたは子どもたちにすすんであいさつしていますか。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	61.1%	33.3%	5.6%	0.0%

児童の「そう思う」が大きく増え、「あまりそう思わない」「そう思わない」が減っている。保護者も「そう思う」が増え、「あまりそう思わない」「そう思わない」が減っている。教職員は「あまりそう思わない」「そう思わない」が0%になった。あいさつについては、前期から継続して指導している。その成果が出ているといえる。結果から保護者が児童の見本として率先して、あいさつをしていただいていることがわかる。教職員も前期あった「あまりそう思わない」がなくなったことからその意識をさらに強くもったことがわかる。児童のまわりの大人が範を示すことはとても有効である。日々の指導だけではなく、あいさつは人を大切にすることとつながりがあることなど、あいさつをすることの意味、有効性などは道徳でも学ぶことである。今後も様々な場面で指導を継続し、児童が自分からあいさつできる姿を目指していきたい。

質問13		後期				前期			
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	あなたは自分の携帯電話(スマートフォン)を持っていますか。	71.0%	2.1%	1.4%	25.5%	3.5%	78.0%	9.2%	9.2%
保護者	あなたはお子さんに携帯電話(スマートフォン)を持たせていますか。	36.5%	13.5%	2.1%	47.9%	26.6%	40.6%	0.0%	32.8%
教職員	あなたは学級児童で携帯電話(スマートフォン)を持っている児童を把握していますか。	26.7%	40.0%	26.7%	6.7%	10.5%	47.4%	26.3%	15.8%

児童、保護者、教職員の三者とも「そう思う」が増えている。特に児童の「そう思う」が大きく増えている。携帯電話(スマートフォン)をもっている児童はどんどん増えてきているといえる。携帯電話(スマートフォン)は非常に便利なものではあるが、使い方によっては人を傷つけるものになりかねない。実際に大枝小学校でもスマートフォンのコミュニケーションアプリを介しての人間関係トラブルが起こっている。また、「そう思わない」も増えている。携帯電話(スマートフォン)の使用について話される中で、使用を控えた方がよいと判断されている家庭もあると聞いている。いずれにせよ、学校でも、家庭でも携帯電話(スマートフォン)の使い方を指導し、児童の使い方についてしっかりと見守っていかなければいけない。

② ジョイントプログラム・プレジョイントプログラム確認テスト結果から

- ・厳しい実態であることがわかった。学力向上の取組の改革が必要である。

③ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から（5年生が調査対象）

○体格 身長・体重は全国平均並み

男子	<全 国>	平均身長 138.82 c m	平均体重 33.99 k g
	<京都府>	平均身長 138.89 c m	平均体重 33.56 k g
	<大枝小学校>	平均身長 138.49 c m	平均体重 32.67 k g
女子	<全 国>	平均身長 140.05 c m	平均体重 33.90 k g
	<京都府>	平均身長 140.10 c m	平均体重 33.55 k g
	<大枝小学校>	平均身長 139.25 c m	平均体重 32.22 k g

○実技 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび ソフトボール投げ を実施

男子…全国平均，京都府平均を上回る成績

体力合計点（全国 53.92，京都府 53.21，大枝小学校 55.65）

☆特に良かった項目 20mシャトルラン，50m走

女子…全国平均並，京都府平均を上回る成績

体力合計点（全国 55.54，京都府 54.09，大枝小学校 54.77）

☆特に良かった項目 上体起こし，反復横とび，20mシャトルラン

○児童質問紙（結果から注目した項目）

- ・「運動やスポーツをすることは好きですか？」・・・「好き」「やや好き」が95% 「嫌い」が約5%
全国・京都府平均を上回る。
(全国約90%，京都府約92%)
- ・「体育の授業では授業の目標・ねらいが示されていますか？」・・・「示されている」が90.5% 全国，京都府
を大きく上回る。(全国約50%，京都府約60%)
- ・「ふだんの体育の授業では授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか？」
・・・「行っている」が約80% 全国，京都府平均を
大きく上回る。(全国約30%，京都府約45%)
- ・「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。」
などの質問項目で全国，京都府平均を下回る。

④ 朝スッキリウィーク・生活アンケート

連休，長期休みで乱れてしまう生活習慣を整えることが目的である朝スッキリウィークを冬休み明けに行った。

<結果から気になること>

- ・冬休みという生活リズムが乱れがちな期間の後であっても，リズムを整えて生活できている子がいる一方で，
乱れた生活リズムを引きずってしまっている子もいる
- ・「朝うんち」は毎回の課題である。
- ・「起きる」「寝る」にも×が多く，起床就寝時刻のリズムが乱れている人が多いことがわかった。特に高学年に
なると，就寝の設定時刻自体が遅くなり，22時以降に設定する人が40%を超えていた。

⑤ 小中合同の取組から

- ・柿麻呂コーナーを始めたことで、大枝中学校、桂坂小学校の様子や取組について知ることができた。

＊柿麻呂コーナーとは、3校（大枝中学校、桂坂小学校、大枝小学校）の学校だよりや作品を掲示し、紹介するコーナー。大枝小学校は職員室横の掲示板に設置。

- ・あいさつ、そうじ、人権の標語作りに3校で取り組み、それぞれの項目の意識向上を図ることができた。
- ・SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業の指定を大枝中学校ブロックで受け、主にポスターセッションに取り組んだ。自分で研究テーマを決めて、探究したことは、学習全般の意欲向上につながった。

⑥ 学校運営協議会の皆様からの御意見

- ・あいさつやそうじができるようになってきていることはとても良いことである。学校の取組の効果が出ている。
- ・来校した時に、子どもたちがとても良い姿で活動していることが感じられる。
- ・携帯電話、スマートフォンの所持率が高いことが気になる。スマートフォン、特にSNSでのトラブルやいじめが社会全体で問題になっている気をつけなければならない。
- ・いじめがないかしっかりと見ていく必要がある。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙の結果で、「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦する」という結果が良くなかったことが気になった。これから意識して指導していくべきだ。
- ・ジョイントプログラム、プレジョイントプログラム確認テストの結果が良くなかったということだが、子どもたちは落ち着いて生活しているし、生活態度も良いので、それに一喜一憂しすぎないようにしたい。あいさつやそうじをしっかりとすることや失敗をおそれずに物事に挑戦していくなど態度を大切にしていけば、中学校に進学してから十分に伸びると思う。実際に地域の中学生や高校生を見ていると小学校卒業後に学力も伸びている子が多い。
- ・スチューデントシティや持久走大会など学校運営協議会としても是非、協力していきたい。

☆各種評価指標結果を受けてこれから取り組んでいくこと☆

<学力向上> …「進んで学び」につながる事項

- ・各教科の学習指導法の見直し、チャレンジタイム、朝学習等の帯時間の使い方の見直し、協力指導大切等、指導体制の在り方を見直しを行い、どのようなことが児童の学力向上に効果があるか考え、実践する。

<あいさつ・そうじの充実>…「自他を大切にする」につながる事項

- ・あいさつ、そうじのますますの充実を目指すために、異学年交流を行ったり、児童会が中心となってあいさつ運動を行ったりする。

<情報モラル教育の推進>…「自他を大切にする」につながる事項

- ・携帯電話、スマートフォンの使用の仕方、危険について学ぶ機会を増やす。保護者の啓発活動を充実させる。

<良い生活習慣の定着>…「進んで学び」「自他を大切にする」につながる事項

- ・良い生活習慣と学力の相関関係など、良い生活習慣を身に付けることでどのような効果があるのかを示し、自発的な生活態度を育てる。

<小中連携のさらなる充実>…「進んで学び」「自他を大切にする」につながる事項

- ・今年度行った小中連携を継続しつつも小学校6年生と中学校1年生との連携だけではなく、小学校1年生から中学校3年生までの9年間で育てるという意識を明確にもち、大切にすべき学び方、学習規律を中学校ブロックで共有し、指導する。